

## 小野運送店

# BCPで顧客ニーズに対応

## 災害発生時の物流ストップを防ぐ

い、合否の判断を下す。新人ドライバーに対する教育の責任を明確化することで、より徹底した指導につなげ、安全の向上に寄与している。

エコドライブを点数化し、給与手当てに反映

関東を中心に、危険物物流事業を展開する小野運送店(本社・東京都品川区、小野正彦社長)では、安全と環境に加え、BCPの取り組みも強化している。運送業界の中では、比較的早い段階からデジタルタコグラフの導入や、法定速度での走行を徹底するなどして事故発生防止とエコドライブを推進。安全に向けた教育はもちろん、今年は新型コロナウイルス感染症拡大に備えたBCPも策定している。

## 営業所ごとに安全研修会を毎年実施

同社は1896年に荷馬車による運送屋として創業し、今年で124年の歴史を誇る。現在は大手塗料メーカーをはじめとした危険物や建材などの運送・保管を担っているほか、88年から産業廃棄物運搬事業にも参入。回収から処理に至る一連の産業廃棄物処理を手掛けることで、環境浄化に貢献し、運輸・保管事業と並ぶ同社の営業の柱

のひとつに成長している。

危険物を取り扱う同社では、「安全第一」をモットーに、ドライバーに対する教育を徹底している。2005年からは毎年、営業所ごとにドライバーを対象とした研修会を開催。実際の現場を想定した状況を作り、安全運転の履行や危険物のタンク注入時におけるコンタミ防止などに関する訓練を実施している。

新人ドライバー教育では、営業所のトップである所長自らがマニュアルに沿った指導を行



研修会で安全教育を徹底



燃費を大幅に改善

近年、運送業界ではデジタルコムの普及が進んでいるが、同社は業界に先駆けて導入し、エコドライブに活用している。車両の走行速度やアイドリング時間、回転数の基準を設定し、基準数値を超えた場合はドライバーの持ち点を減点するなどドライバーの運転状況を可視化している。また、持ち点によって手当を支給する給与体系も採用するなどして、車両燃費は大型ト



法定速度を遵守

トラックで1〜2km/ℓ向上し、燃料コストでは約1割の削減を実現した。

1980年頃からは小野運送店5代目となる小野為男社長が、「特殊品(危険物)を運搬するためには、一歩踏み込んだ安全対策が必要」と考え、一般道法定速度および高速道路時速80kmでの走行を厳守している。北原洋志執行役員運輸営業部長は「今でこそ法定速度を守ることが当たり前となっているが、当時は珍しく、私もドライバー時代は多くの車両が法定速度を超える中で走行していたため、煽られたりするなど怖かった」と振り返り、「当社では以前から実践していたことだが、法定速度内での走行は当たり前となり、事故発生件数は大幅に減少した」と説明する。

### BCP対策で 地下タンクを設置

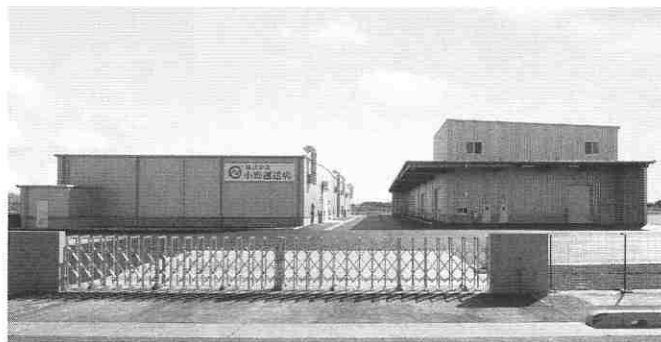
東日本大震災では、東日本各

地でガソリンスタンドに行列が発生したため、多くの運送事業者は燃料を確保できず物流がストップした。一方、小野運送店では、「千葉営業所」(千葉県九十九里町)と「栃木営業所」(栃木県宇都宮市)に地下燃料タンクを設けていたため、車両を止めることなく顧客のニーズに対応できたという。この震災の経験を踏まえ、2014年に開設した「埼玉営業所」(埼玉県白岡市)にも地下タンクを設置した。

タンクの投資額は3000〜4000万円で、法人契約によるガソリンスタンドでの給油と比較しても、燃料費はそれほど変わらないが、「震災後数年間は、お客様から『あの時は本当に助かった』という言葉を多くいただいた。荷主企業に対して、事業の継続と早期復旧を担

保することは重要なため、地下タンクの設置を決定した」(北原氏)と説明する。新型コロナウイルス感染症に対しても、感染者が確認され、営業所を閉鎖する必要が発生した場合に備え、代替営業所を選定した。例えば、「栃木営業所」では、最寄りの「茨城営業所」(茨城県桜川市)に業務遂行時の必需品を移し、貨物は協力会社の最寄り倉庫に移動させるなど迅速に業務を再開できるように準備している。危険物に關しては、「埼玉営業所」が受け皿となり対応する。

北原氏は「当社に全ての物量を預けていただいているお客様もいるため、営業所がストップすると大きな影響を与えてしまう。感染者を出さないことが最も重要だが、感染のリスクがある以上、代替営業所を設けることは必要だ」と語り、「今後も、安全・環境・BCPをはじめとした取り組みで、既存顧客へのサービスレベルを維持向上させていくとともに、これまでとは異なる分野の新規顧客の開拓にも注力したい」と抱負を述べる。



地下タンクを設置した「埼玉営業所」



北原氏

CM・PV・会社案内、映像制作を承ります!!

cargo@cargo-news.co.jp

# 京浜島に新センターが誕生

小野運送店は2021年2月に「京浜島センター」を新設します  
都内アクセス抜群の好立地でお客様のビジネスをサポートします

2月にはこちらも  
竣工予定です

## 京浜島センター

所在地：東京都大田区京浜島  
用途：物流加工および保管  
敷地面積：約1,000㎡

〔(1F)配送センター約500㎡〕  
〔(2F)常温一般倉庫約500㎡〕

## 東茨城営業所

所在地：茨城県小美玉市  
用途：物流加工および保管  
敷地面積：約2,000㎡

〔配送センター約350㎡〕  
〔常温一般倉庫約170㎡〕  
〔危険物一般取扱所約70㎡〕

## 千葉九十九里倉庫


所在地：千葉県山武郡  
用途：危険物第4類保管  
敷地面積：約5,000㎡

〔常温危険物倉庫約500㎡×4棟〕  
〔合計2,000㎡〕



120年の歴史がつなぐ信頼  
お客様の荷物を安全・確実に  
お預かりします

お客様の気持ちをつなぐ

 株式会社小野運送店

埼玉営業所

お問い合わせはこちらまで  
TEL.03-3474-2081 (本社運輸営業部 担当：北原・高梨)

〒140-0004 東京都品川区南品川 4-2-33

小野運送店

検索